

## Ⅲ. 組織基盤の強化

### (1) 効果的な広報・PR 活動の実施

#### ○機関紙大商ニュースの発行

本会議所の活動を広報するとともに、経営に役立つ情報を会員に提供するため、機関紙「大商ニュース」を20回発行した。「千客万来都市 OSAKA プラン」の5つの戦略プロジェクトと4つの基盤強化に関する事業についてそれぞれ特集したほか、企業間の取引拡大のためのビジネスマッチング事業や、共済・保険事業について特集した。また、「なにわなんでも大阪検定」の受験を促進する「大阪検定の魅力を語る」や、企業におけるメンタルヘルス対策を紹介する「メンタル・ヘルスマネジメントの新しい形」、企業家の名言を紹介する「大阪 企業家の鑑—経営者の名言」等を連載した。

#### ○Eメールを活用した広報(大商メールステーション)とホームページの充実

企業や個人の関心事項に応じて本会議所事業を効果的に案内するため、「大商メールステーション」を運営し、Eメールによる案内配信サービスを実施した。ホームページでは佐藤茂雄本会議所会頭による会員企業訪問・現場視察の情報を発信するページ「佐藤会頭の眼 Chairman's eye with you」を開設したほか、本会議所事業のタイムリーな情報提供を行った。

[成果・実績]大商メールステーションの登録者数は1万5,882人、ホームページのトップページへの年間アクセス件数は73万6,944件、総ページビューは455万2,061件になった(URL=http://osaka.cci.or.jp)。

#### ○ラジオ番組の提供

生命共済制度の利用を促進するため、朝日放送のラジオ番組「磯部・柴田の日曜のびのび大放送」の中で、中小企業向けに情報を提供するコーナー「イソベっちの、前へ前へポッポー!」を設け、毎週日曜日に47回放送した。

[成果・実績]本会議所の事業参画者・関係者を中心に48人がゲスト出演し、自社の取り組みや本会議所の活用法等を紹介したほか、本会議所の事業をPRした。



朝日放送のラジオ番組「磯部・柴田の日曜のびのび大放送」の中で、中小企業向けに情報を提供するコーナーを設けた。3月、同コーナーの最終回には小嶋淳司本会議所副会頭が出演した。

#### ○大阪活力グランプリの実施

大阪のチャレンジ精神、パイオニア精神の発信・高揚を目的に、大阪の産業・地域経済に貢献した法人・団体・個人を会頭名で表彰する「大阪活力グランプリ」を実施した。マスコミ各社からなる選考委員会、本会議所役員・議員から20件の推薦があり、その中から選考委員会で8件に絞り込んだ上で、投票を行い、12月にグランプリを選出した。

[成果・実績]グランプリに「新関西国際空港会社の設立とLCCの就航」、特別賞に「100周年の、吉本興業、通天閣・新世界、ひらかたパーク」「山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞受賞決定」を選出し、12月の会員交流大会で表彰した。



12月、大阪活力グランプリに「新関西国際空港会社の設立とLCCの就航」、特別賞に「100周年の、吉本興業、通天閣・新世界、ひらかたパーク」「山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞受賞決定」を選出し、表彰した。

#### ○定例見学会の開催

会員企業の経営者・経営幹部を対象に、企業・工場、都市プロジェクト等の現場見学、見学先代表者や経営幹部の講話を通じて、見聞を広げ、交流を深める場として、定例見学会を開催した。

[成果・実績]製造工程や新製品・新技術開発の進捗状況、研究所での研究内容等の見学会を7回開催し、延べ180人が参加した。

### ○定例朝食懇談会の開催

本会議所役員・議員を中心とした会員企業の経営者・経営幹部を対象に、早朝の時間を活用した定例朝食懇談会を開催した。

[成果・実績]経済情勢、エネルギー問題、科学技術、企業経営等をテーマに10回開催し、延べ818人が参加した。

## (2)3万会員の回復

### ○会員増強運動の推進

本会議所の「力の源泉」である会員数の3万件回復を目指して、会員増強運動を展開した。本会議所事業を利用する未入会企業に事務局職員による入会勧誘を行うとともに、テレアポインターと訪問員がエリア別、業種別に大阪市内の未入会企業（延べ3万533社）に対して、架電のうえ入会勧誘を実施した。また、会員企業が新会員を紹介するキャンペーンも継続実施し、新会員を紹介した会員には、記念品を進呈するとともに、年3件以上新会員を紹介した会員を会員交流大会に招待し、佐藤茂雄本会議所会頭が感謝状を贈呈した。加えて、本会議所の事業利用を推進するため、事業利用の少ない会員2,890件を対象に電話・郵便・FAX等による事業案内を新たに実施した。

[成果・実績]新規加入1,529件に対して、退会が2,411件あり、平成24年度末の会員数は2万8,031件になった。新規加入の内訳は法人会員819件、団体会員39件、個人会員475件、特別会員196件。

### ○会頭の企業・現場訪問

佐藤茂雄本会議所会頭は、平成22年3月の就任時に打ち出した方針「地域経済、中小企業の現状把握には、現場の声を聞くことが第一」に基づき、会員企業や商店街、関わりの深い機関や地域を精力的に訪問した。

[成果・実績]本年度は会員企業や商店街等66カ所を訪問。訪問件数は累計153件になった。



8月、企業・現場訪問の100件目としてタカラベルモント株式会社を訪問し、同社ショールームや大阪工場を視察するとともに、吉川秀隆社長と意見交換した。

### ○会員訪問活動の実施

事業参加、サービス利用の促進を目的として、事務局職員による会員訪問活動を実施した。本会議所事業への意見を聞き、事業運営や効果的なPR活動に反映させるとともに、セミナー等各種事業への参加、サービスの利用を勧めた。また、経営課題をヒアリングし、経営相談ニーズの発掘につなげた。

[成果・実績]事務局職員の会員訪問件数は2,422件。平成15年度から実施している会員訪問活動による訪問累計件数は、4万5,832件に達した。